



ハ 税 収 入 調

(単位千円)

区 分	収入済額	調 定 額	徴 収 率
町 固 定 資 産 税	21,329	21,650	98.5
民 産 車 税	30,362	31,348	96.9
定 自 ば 気 材 定 外 計	2,801	2,992	93.6
消 費 税	15,589	15,589	100.0
ガ 引 普 通 税	7,357	7,357	100.0
取 入 税	356	452	78.0
0	0	5	0
77,794	79,393	98.0	
町民一人当り負担金		3,312円	

これ等による経済効果は実に大きいものがあります。  
 ③ 災害復旧費は決算額の四、一％でその額は一四、六〇九千円となっており若柳橋のかけ替や、触田川ほか護岸復旧等四カ所、道路三線と、重富漁港の復旧工事を実施しました。  
 なお、このほか産業振興と農家所得の向上をはかるため諸施策はもとより制度金融の利子補給や、特に畜産貸付金など産業開発の基盤事業を実施しました。

ニ 地 方 債 調

(単位千円)

区 分	41年度末現在高	42年度発行額	42年度元利償還額		42年度末現在高
			元金	利子	
一般補助事業債	271	—	271	13	284
一般単独債	18,141	1,500	881	1,146	2,027
公営住宅建設債	193	—	193	—	202
義務教育整備債	77,464	7,300	2,203	4,969	7,172
義務教育復旧債	20,637	3,800	2,732	1,267	3,999
単独災害復旧債	2,293	—	551	136	687
公有林整備債	8,700	2,400	—	341	341
町民税減税補填債	15,952	3,900	2,179	1,134	3,313
その他	13,220	1,500	1,205	849	2,054
計	156,871	20,400	10,215	9,864	20,079
住民一人当り	昭和42年度元利償還額		855円		
負担額	昭和42年度末現在高		7,117円		

口 歳 出 A目的別歳出 (単位千円)

区 分	予算額	支出済額	不用額
議 議 費	9,310	9,255	55
会 務 費	66,603	66,008	595
生 産 費	19,137	18,805	332
生 活 費	10,518	10,434	84
林 業 費	37,370	37,005	365
水 産 業 費	59,179	57,904	1,275
農 業 費	1,657	1,623	34
工 木 費	27,315	26,967	348
防 育 費	8,030	7,958	72
害 復 旧 費	65,888	65,448	440
支 債 費	15,046	14,609	437
公 諸 予 備 費	20,086	20,084	2
計	20,387	20,385	2
合 計	360,800	356,485	4,315

(3) 山林

区 分	昭和42年度末現在面積	
	面積	立木推定貯蓄積量
直営林	5,420.181m <sup>2</sup>	11,735m <sup>3</sup>
分収林	4,401.130	14,525
その他	1,325.800	1,157
計	11,147.111	27,415

(2) 土地建物

区 分	昭和42年度末現在	
	土 地	建 物
庁 舎 等	20,072m <sup>2</sup>	3,134m <sup>3</sup>
学 校 等	270,899	33,538
公 共 用 財 産	21,792	6,649
普 通 財 産	3,046,641	—
計	3,359,404	43,321

ホ 財 産

(1) 基金、出資金、有価証券及び貸付金 (単位千円)

区 分	昭和41年度末現在	昭和42年度中増減	昭和42年度末現在
	基 金	24,017	1,492
出 資 金	1,397	0	1,397
有 価 証 券 及 貸 付 金	3,897	949	4,846
計	29,311	2,441	31,752

(4) 物 品

区 分	昭和42年度末現在
大 型 貨 物 自 動 車	2台
小 型 貨 物 自 動 車	2
ス ー パ ー 自 動 車	1
普 通 自 動 車 (シヨベル、清掃車)	2
特 殊 シ ン ー プ 自 動 車	1
消 防 用 力 積 込 ン	4
消 防 用 力 積 込 ン	10
小 型 動 力 積 込 ン	16
計	39

③ 菅原土地区画整理事業  
 四十二年年度で換地処分も終り清算中で別途四十四年度から重富地区を実施する計画で調査準備中であります。

② 国民健康保険事業  
 住民の福祉向上と健康管理のため直営診療所二カ所、この経費一、八三〇千円と、健康保険事業として八七、四四六千円で運営してまいりました。  
 この財源は国民健康保険税が二五、八九八千円を占めています。その徴収率九七、五％実によい成績です。ご協力に感謝し今後も一層のご協力をお願いいたします。

① 2 特別会計  
 水道事業  
 上水道事業は昭和四十年年度着工三カ年計画で四十二年度は最終年度で当初計画が完成しました。数も一、二〇〇戸になりました。四十三年度から更に三船地区、重富地区の残り地区に第一次拡張事業を計画実施することになっております。

(2) 国民健康保険税の収入調

(単位千円)

区 分	収入済額	調 定 額	徴 収 率
国民健康保険税	25,898	26,463	97.9
被保険者一人当り負担額	2,153円		

(1) 昭和42年度決算状況

(単位千円)

区 分	歳 入	歳 出	差引残金
上 水 道 事 業	82,090	81,861	229
簡 易 水 道 事 業	513	492	21
菅原土地区画整理事業	723	584	139
国民健康保険事業勘定	94,192	87,446	6,746
“ 施設勘定	11,504	11,830	△ 326

(3) 地方債調 イ 水道事業

(単位千円)

ロ 国保事業

(単位千円)

41年度末 現在高	42年度 発行額	42年度元利償還額			42年度末 現在高
		元 金	利 子	計	
92.000	51.000	0	6.507	6.507	143.000
給水計画人口一人 当り負担額		42年度元利償還額			501
		42年度末現在高			10.925

41年度末 現在高	42年度 発行額	42年度元利償還額			42年度末 現在高
		元 金	利 子	計	
2.745	0	187	176	363	2.558
被保険者一人当り 負担額		42年度元利償還額			30円
		42年度末現在高			213円

イ 歳 入

(単位千円)

款	当 初 予算額	補 正 予 算			予算現額	予 算 執行額	予算に 対する 執行 割合	対 執行 割合
		1号	2号	3号				
町 税	68.570			4.000	72.570	44.448	61.2	%
自動車取得税交付金	1	200	300	2.499	3.000	0	0	0
地方交付税	145.000	2.137		14.300	161.437	128.084	79.8	%
交通安全対策特別交付金	1			374	375	0	0	0
分担金及び負担金	1.849			1.149	2.998	1.078	36.0	%
使用料及び手数料	7.145			116	7.261	3.880	53.4	%
国庫支出金	54.144	530		5.698	60.372	7.551	12.5	%
県支出金	18.645	1.150		2.998	22.793	1.129	4.9	%
財産収入	6.931		4.000	1.066	11.997	2.256	18.8	%
寄附金	1.510	100		667	2.277	0	0	0
繰入金	12.000				12.000	0	0	0
繰上金	1	1.554			1.555	1.554	100.0	%
諸収入	6.990	2.602		25	9.617	3.689	38.4	%
町債	24.500	1.000		6.300	31.800	2.200	6.9	%
歳入合計	347.287	9.273	4.300	39.192	400.052	195.869	49.0	%

本年度上半期の財政状況は一般会計、特別会計ともに別表のとおりでこれは本年四月一日から九月末日(上半期)までの予算執行状況であります。初予算の施政方針を柱に上半期は事業費や、物件費等若干の予算追加をし、その予算に対し執行しておりますが本町の財政は大変きび

二 昭和43年度

上半期財政状況

ロ 歳 出

(単位千円)

二、一時借入金  
の状況  
なし

款	当 初 予算	補 正 予 算			予算現額	予 算 執行額	予算に 対する 執行 割合	対 執行 割合
		1号	2号	3号				
議 会 費	9.035	21			185	9.241	4.522	48.9
事 務 費	61.872	921			2.993	65.786	29.711	45.2
民 生 費	20.396	9			3.327	23.732	9.303	39.2
衛 生 費	9.353	57			306	9.716	3.923	40.4
労 働 費	37.280	2			1.805	39.087	17.133	43.8
農 林 水 産 業 費	51.097	3.317			5.667	60.081	15.466	25.7
商 工 費	1.596	52				1.648	677	41.1
土 木 費	17.993	230	300		11.145	29.668	6.859	23.1
消 防 費	5.569	1.815			240	7.624	2.459	32.3
教 育 費	88.402	2.668			5.075	96.145	23.700	24.7
災 害 復 旧 費	6.961				5.405	12.366	4.678	37.8
公 債 費	22.899				3.030	25.929	10.733	41.4
諸 支 出 金	14.334	181	4.000		14	18.529	4.175	22.5
予 備 費	500					500	0	0
歳出合計	347.287	9.273	4.300	39.192	400.052	133.339	33.3	%

しいものがあります。自主財源の確保につとめ効率的な予算の執行によって大始良町の

町づくりに邁進していきたくと思  
います  
(以上)

収 入 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算に対する割合	
		1号	2号			
上水道事業費用	30,386	3,647		37,833	16.693	42.9%
白浜地区簡易水道事業費用	113			113	21	18.6
成美地区簡易水道事業費用	541	154		695	163	23.5
上水道事業資本的収入	37,466	2,390		39,856	4,528	11.4
上水道事業の繰上支出	26	228		254	12	4.7
上水道事業の繰下支出	81	93		174	31	17.8
収 入 合 計	68,333	11,512		79,845	21,418	26.8

イ 収 入 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算執行額	予算に対する割合
		1号	2号			
上水道事業収益	27,199	2,451		29,650	19,635	66.2%
白浜地区簡易水道事業収益	110			110	117	106.4
成美地区簡易水道事業収益	432△	54		378	217	57.4
上水道事業資本的収入	34,885△	2417		32,468	0	0
収 入 合 計	62,626△	20	一	62,606	19,969	31.9

口 歳 入 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算執行額	予算に対する割合
		1号	2号			
分担金及負担金	601			601	0	0%
繰越金	100	39		139	139	100.0
諸収入	502	250	173	925	909	98.3
歳入合計	1,203	289	173	1,665	1,048	62.9

(注) 収入の不足分については一般会計からの長期借入金損益勘定保留資金等からの補てんする  
 三、一時借入金の状況  
 六〇〇千円 水源用地購入資金及び運転資金として  
 三、特別会計  
 (一) 菅原土地区画整理事業  
 上半期に四六二千円を補正  
 昭和四十三年度上半期予算は一、六六五千円となりその補正予算及び予算の執行状況は次のとおりです。

イ 歳 入 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算執行額	予算に対する割合
		1号	2号			
国民健康保険税	32,507			32,507	14,994	46.1%
国民健康保険料	21			21	4	19.0
国民健康保険手数料	67,086			67,086	23,429	34.9
国民健康保険基金収入	4,000	1,745		5,745	5,746	100.0
国民健康保険基金繰上収入	114			114	95	83.3
国民健康保険基金繰下収入	50			50	113	226.0
歳入合計	103,780	1,745	一	105,525	44,381	42.1

口 歳 出 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算執行額	予算に対する割合
		1号	2号			
事業費	771	288	173	1,232	84	6.8
公債費	422	1		423	0	0
予備費	10			10	0	0
歳出合計	1,203	289	173	1,665	84	6.8

二 一時借入金の状況

(一) 国民健康保険施設勘定  
 上半期に三八三千円を補正  
 昭和四十三年度上半期予算は一、九二八千円となりました。

二 一時借入金の状況  
 なし

口 歳 出 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算執行額	予算に対する割合
		1号	2号			
総務課	7,087	32		7,119	3,694	51.9%
給食課	93,729			93,729	30,727	32.8
保険課	1,905			1,905	741	38.9
基金	50			50	0	0
公債	90			90	0	0
諸予備	459	5		464	4	0.9
歳出合計	103,780	1,745	一	105,525	35,166	33.3

二 一時借入金の状況

三、〇〇〇千円を事業勘定から繰入れた。

口 歳 出 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算執行額	予算に対する割合
		1号	2号			
診療費	8,145	43		8,188	3,915	47.8
業務整備費	3,990			3,990	2,083	52.2
施設整備費	26			26	8	30.8
公債	364			364	181	49.7
諸予備	20			20	0	0
歳出合計	12,545	326	57	12,928	6,513	50.4

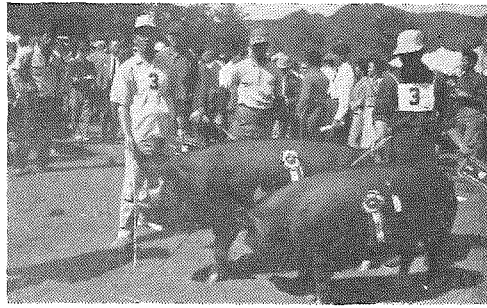
イ 歳 入 (単位千円)

款	当初予算	補正予算		予算現額	予算執行額	予算に対する割合
		1号	2号			
診療収入	11,812	326	57	12,195	3,697	30.3%
分担金及負担金	2			2	0	0
使用料及手数料	12			12	8	6.66
県支入金	228			228	0	0
繰上収入	455			455	0	0
諸収入	36			36	46	127.8
歳入合計	12,545	326	57	12,928	3,761	29.0

# 県畜産共進会

## 高島春義さん飼養の豚一等に入賞

県畜産共進会が十月十三日から十五日まで、指宿郡開聞町で開かれました。当町より郡代表として春花部落高島春義さん飼養の豚(系統豚)が一等に入賞した。



春花 高島春義、春花 蔵満辰夫  
寺師 中西実  
◎系統豚  
一等 春花 高島春義  
◎乳牛之部 経産  
二等 東原 相生貞盛  
◎未経産  
二等 白金原 前田周蔵  
団体優勝で種豚之部、始良町農協が優勝した。

### 始良町畜産品評会

◎和種種牛の部 当才牝  
一等 崎山政徳、中川原 小坂一夫、上麓 永野厚 二等 豊留 徳重悟、高樋 平国進、中川原 富田透光  
◎二才牝  
一等 中津野 今村和孝、中津野 大久保文男、木場 溝口重男 二等 寺師 新名辰己、奈良袂 志戸岡道夫、山花 福崎重信

### ◎三才牝

一等 黒瀬南、鯉坂豊志、池平 池平忠志 二等 寺師 精木重則、寺師 新名辰己  
◎繁殖牛  
一等 山元 七ツ谷秀光、木津 志中 池田良光、黒瀬南 村岡義則 二等 瀬戸段 松田保、鶴田 瀬戸宏、黒瀬北 外園豊記、山花 比知屋忍

### ◎肥育牛の部 一部牝

一等 上麓 下高牧勇吉 二等 竹中重盛、岩崎 竹中フミ  
◎三才牝  
楠元 富吉正利、東原西 川辺

なお、郡、町畜産品評会の成績は次のとおりです。  
始良郡畜産共進会  
◎肉用牛 当才之部  
二等 山花 崎山政徳、三等 中川原 小坂一夫、上麓 永野厚  
◎二才之部  
二等 中津野 今村和孝、三等 中津野 今村和孝、中津野大久保 文夫  
◎三才之部  
二等 池平 池平忠志 三等 黒瀬 鯉坂豊志  
◎種豚の部  
一等 中津野 柳迫光雄、二等

正志 二等 黒江義治、楠元 瀬戸口正行  
◎肥育去勢一部  
一等 中津野 今村久、春花 永迫清則  
◎肥育去勢二部  
一等 寺師 福元次男 二等 寺師 鍋倉 初  
◎乳用種牛の部  
◎未経産  
一等 白金原 前田周蔵 二等 十日町 川辺清四、東原西 相生 貞盛  
◎経産  
一等 東原西 相生貞盛 二等 楠元 山路敦、大小路 村田孝  
◎種豚の部 一部  
一等 春花 高島春義、中津野 柳迫光弘 二等 中津野 柳迫光 弘、春花 蔵満辰夫  
◎系統豚  
一等 春花 高島春義 二等 中津野 今村重吉、増田 南勇

## 国民年金普及 推進の実施について

鹿児島県並びに鹿児島県社会保険事務所と、各市町村では国民年金事業について、次の目的達成の為に国民年金普及推進を実施中であります。

### 目的

昭和46年度の抛出し制老令年金の支給開始を間近に控え、さらに明年度に予定されている、厚生年金保険の給付改善に歩調を合せて、国民年金制度充実のため、改正が行なわれようとしています。

この重要な時期にあたり、一段と本制度の普及浸透を図り町民の協力を得て事業推進の基盤を確立するとともに、町民の将来の生活を保障する本制度を積極的に理解されることを目的とします。

始良町でも町民福祉の為に、国民年金全般にわたって相談に応じます。

特に未適用者の解消および保険料免除者の低減ならびに保険料の納期限内完納を促進されるものであります。

◎三才牝  
楠元 富吉正利、東原西 川辺

◎なお国民年金の保険料を納入せず滞納しておられる方は、将来国民年金の受給年令が来ても受給できませんので念のため申しそえます。

◎次に始良町に鹿児島県知事の委嘱せられた、国民年金委員が設置されましたので国民年金のことに付いて何んでも相談してください。国民年金委員は次の五氏であります。

- 重富校区 堀之内義春(触田下)
- 建昌校区 宮内 健(駅前)
- 帖佐三船校区 肥後 侃二(水流寺)
- 山田校区 有田 政雄(新町)
- 北山校区 上麓 忠春(中甕西)

## 交通豆知識

※負傷者を運んだ人へ報償金 四十三年十一月一日から、鹿児島県では、交通事故でケガした人

を一刻も早く、病院等へ送りとり、適切な治療を受けてもらうために「交通事故による負傷者を搬送した者に対する報償金贈与制度」が実施されております。  
これは、交通事故による負傷者を医療機関等へ搬送した人に報償金を贈与するものです。  
報償金の手続きは、直接警察官に届けるか、または、病院、警察署、役場などに備えてある搬送カードで申請することになります。  
なお、次の人には報償金は支給されません。

- ※交通事故を起した運転者等
- ※警察官および消防吏員
- ※負傷者の親族

交通事故の相談から手続きまですべてがその場でOK!!  
交通事故で困っているみなさん県庁内にある県交通事故相談所では専門の相談員や弁護士が  
※賠償額の算定のしかた  
※示談のすすめかた  
※調停訴訟のやりかた  
などくわしく相談に応じます。

※生活費や医療費支払いに困っている被害者は、自賠保の仮渡しや、内払い請求をしましょう。  
県交通被災者協会(県交通事故相談所内)

この協会は交通事故で困っている方々の集りです。保険金の請求や調停手続きなどはその場で代筆してさしあげます。  
みんなの相談所として、また自分たちの協会として気軽にご利用ください。

# 歳末助け合い運動にご協力を!

今年も全国的に歳末助け合い運動が展開されることになりました。本町も小组長さん、婦人会長さん、ご協力のもとに、生活に困っている方、長期療養、老人ホーム、児童福祉施設等に、さびしくすごしている方に、みなさんの心のもつた慰問品をおくり、はげましくなくさめてあげたいと思います。

小组長、婦人会長さんがみなさんのご家庭にお伺いして、お願いにまいられると思いますので、この運動にご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、各種団体、学校等で食品等のご寄附がありましたら、12月20日まで、福祉課までお届け下さい。

## 買ひものは

### 町内の店で買ひましよう

年末大売出し実施期間  
十二月二日から十二月三十一日まで

景品つき大売出し(三角くじ方式)特等

東芝テレビ 四台  
丸石軽快兼用車 六台  
石油ストーブ 十一台  
エレベレストジャマー 二十四個  
東芝ヘヤドライヤー 四十個  
バスタオル 三〇〇枚  
フラワー化粧石けん 三、〇〇〇個  
不二家チョコボール 五、〇〇〇個  
商工会館筆一〇、〇〇〇本

### 国際人権年記念人権月間

(12月1日~12月31日)

12月10日は人権デーです。人権尊重の考えを新たに、お互に自分の権利を大事にし、他人の権利を尊重して、明るい社会をつくることに努めましょう。

もし、基本的人権が侵されたような場合は、ただちに法務局又は人権擁護委員にご相談下さい。本町の人権擁護委員は次の方です。

## 食べ物の色と味

一、野菜の青、緑、黄や肉の赤と食品の色どりを豊かにしましょう。ビタミンとミネラルが十分とれて、スタミナが付きまします。

二、人工着色の飲食物はなるべく避けましょう。肝臓をいためることなく、健康と長生きに役立ちます。

三、一般に冬は塩味をうすくし、中年からはよけいに気をつけましょう。日本人に多い高血圧病の予防になります。

したがって、味つけはなるべくくすくすし、食品の生地風味を生かして食べましょう。

香辛料は少な目に、特に子どもには注意しましょう。

## 始良町車両保有台数調らべ

### 台数調らべ

昭和四十三年九月一日現在

原付	五〇〇	六四一台
二輪	九〇〇	二三九台
自二輪	一一五	五四六台
農耕作業用小形特殊	一〇一	一〇一台
軽自動車四輪	乗用	一三八台
貨物	五三八台	
大型トラック	一六	一六台
バス	六〇	七台
普通車	四	四台

## 秋の全国交通安全運動 期間中の交通事故

一、期間中の交通事故

月日	町名	件数	内容
10.12	加治木	1	容けた車のバツが転倒
10.13	始良	1	追突の際の接触事故
10.13	"	1	追突の際の接触事故
10.20	加治木	1	追突の際の接触事故
10.20	"	1	追突の際の接触事故
計		5	

月日	町名	件数	内容
10.12	加治木	1	容けた車のバツが転倒
10.13	始良	1	追突の際の接触事故
10.13	"	1	追突の際の接触事故
10.20	加治木	1	追突の際の接触事故
10.20	"	1	追突の際の接触事故
計		5	

右記のとおり、五件の交通事故が発生したが、うち二件が始良町管内の事故である。なお期間中、蒲生町、溝辺町では交通事故は発生していない。この事は交通事故が国道を中心に起っていることを証明します。

四、期間中の法令違反(酒よ、無免許、速度違反)

期間中の法令違反は下の表のとおりです。

町名	酒よ	無免許	計
加治木	3	1	4
溝辺	1	1	2
蒲生	5	4	9
計	9	6	15

## 特志寄附

米山薬師へご寄進  
一 金五千円也

枕崎市小原病院院長 小原照雄様  
文化財保護委員あて、米山薬師の補修費の一部として五千円のご寄附をいただきました。

小原様から一昨年も五千円寄附をいただいております。

紙上を借りてお礼申し上げます  
文化財保護委員 逆瀬川三男

## 香典返し

十月四日~十一月十一日

- 一金参千円也 故徳丸三熊様 64
- 十日町 徳丸ハル殿
- 一金参千円也 故宮原ナヲ様 94
- 高樋 宮原 繁殿
- 一金参千円也 故鬼塚利安様 56
- 星原 鬼塚 典殿
- 一金参千円也 故下野タメ様 92
- 三拾町 下野 重国殿
- 一金壹万円也 故石原千代子様 46
- 十日町 石原 正俊殿
- 一金五千円也 故吉村清蔵様 62
- 山口也 吉村 計治殿
- 一金壹千円也故堀口ケサミ様 77
- 建昌 堀口 影清殿
- 一金参千円也 故川田金熊様 75
- 上ノ上 川田 信義殿
- 一金参千円也 故佐藤盛盛様 72
- 鍋倉 佐藤 ギン殿
- 一金貳千円也 故河之上一啓様 17
- 並木東 河之上重雄殿
- 一金貳千円也
- 長男出生につき社協へ寄附金として
- 城瀬 清藤 修殿